

1. 環境チャレンジ目標2030

環境チャレンジ目標 エコチャレ 2030

目標年度：2030年度

2030年に向けた
環境チャレンジ目標を
2018年度に策定し、
取り組みを
推進しています。



チャレンジ1

2050年度には、
排出量実質ゼロを
めざす!

事業活動における
CO₂排出量を半減!

重点施策

- 設備更新／車両更新
- 省エネチューニング
- 太陽光自家発電・自家消費
- 電気自動車・トラックの導入
- コープでんきへの切替



チャレンジ2

事業活動における
食品廃棄物を半減!

重点施策

- 店舗廃棄重量削減
- フードバンクなどへの食品提供拡大
- 食品リサイクル率向上



チャレンジ3

事業活動における
**プラスチック使用量を
25%削減!**

重点施策

- プラスチック製容器包装の削減
- 再生プラやバイオプラなど代替素材への切り替え推進
- プラ削減につながる商品・サービスの開発・供給促進



チャレンジ4

環境に配慮したエシカルな
商品やサービスの
開発・供給推進!

重点施策

- 環境配慮型のエシカルな商品・サービスの開発・供給推進
- 地産地消の推進



チャレンジ5

組合員とともに
エシカル消費を拡大!

重点施策

- エシカルな商品、エシカルな暮らしのあり方に関する学習・広報の推進
- 組合員とともにエシカル消費を拡大



2.「環境チャレンジ目標2030」にもとづく2023年度計画

〈チャレンジ1〉CO₂排出量を半減!

- 再エネ100%事業所の対象事業所数を維持。
- 自家発電・自家消費型太陽光発電設備の稼働。
- 省エネチューニングは一部店舗において契約満了に伴い終了。省エネ設備を残置する等、継続して省エネに注力。
- EVトラックの導入を検討。
- 設備更新の際、省エネ設備(冷ケース・LED・空調)への切替えを促進。

〈チャレンジ2〉食品廃棄物を半減!

- 食品残さ回収対象店舗を65店舗に拡大。野菜くず、肉脂の他、新たに日配廃棄品の回収拡大。
- 「てまえどり」の認知度を向上。
- 遠隔地の店舗において、店舗設置型のコンポスト機器の導入を検討。

〈チャレンジ3〉プラスチック使用量を25%削減!

- 商品の容器包装や店舗・宅配のプラ資材の使用量削減策を検討。
- 畜産ノントレイの取り扱い品目の拡大。
- 広報・学習会を通じ「マイバッグ運動NEXT」の推進強化。

〈チャレンジ4〉環境に配慮したエシカルな商品やサービスの開発・供給推進!

- 6月と10月のエシカル強化月間にエシカルな商品の企画・供給促進。
- コープでんきの理解を深める取り組みを推進(エコファーム ソーラーシェアリングの野菜をプレゼント)。
- 店頭回収ペットボトルについて、東播磨地域での「ボトルtoボトル」の取り組みを継続。
- 店頭回収ペットボトルについて、新たに日生協コープ商品の包材原料としての活用を推進。
- 寄付機能付きペットボトル減容回収機の設置と寄付金の贈呈。
- 海洋プラかご(コープ立花)の設置を計画。
- 羽毛回収・リサイクルについて、店舗での継続展開と宅配での試験導入に着手。

〈チャレンジ5〉組合員とともにエシカル消費を拡大!

- エシカルやSDGsに関する講演会・学習会(オンライン含む)を実施し、地域全体で取り組みを推進。
- 全店舗でのフードドライブ常時受付の継続。店舗・宅配での集中取り組みを年2回開催。
- 職員研修(「まNabi」)ツールでSDGs関連映画の視聴・学習企画を開催。
- 日生協主催のコープサステナブルアクション(「生き物探し」「レシピコンテスト」等)に参画。
- 食品ロスをテーマとした「語り手学習会(9月)」を開催。組合員・職員と共に普及・啓発を推進。
- 宅配運営部と連携し、古紙めいむ・宅配内袋の返却の呼びかけ強化を実施。回収率向上を促進。
- 「ラジオ関西」にて環境の取り組み(「コープエコのはなし」)を毎月放送(継続)。

3. 環境チャレンジ目標「エコチャレ2030」の2022年度達成状況

【チャレンジ1】

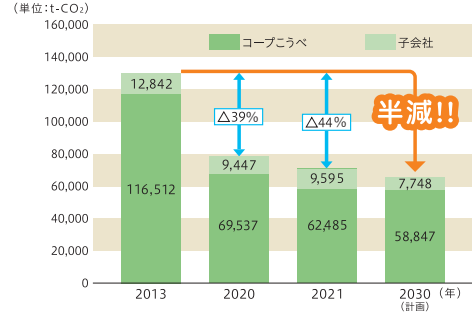
事業活動におけるCO₂排出量を半減！

〈取り組み・達成状況〉
エネルギー使用量の削減や再エネ100%事業所の展開など、「量の削減」・「質の改善」両面に取り組み。

**CO₂排出量(2021年度※)は
基準年(2013年)比56%(▲44%)と順調に削減。**

※CO₂排出量は最新の2021年度確定値を記載
(2022年度実績は2023年11月頃に確定)。

■2030年までのCO₂削減計画

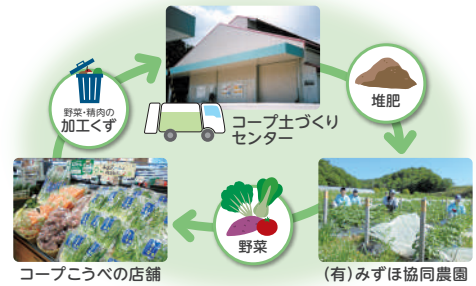


【チャレンジ2】

事業活動における食品廃棄物を半減！

〈取り組み・達成状況〉
エコファーム残さ回収店舗の拡大、店舗・宅配・食品工場でのロス削減強化。

基準年(2015年)比83.8%に削減。



【チャレンジ3】

事業活動におけるプラスチック使用量を25%削減！

〈取り組み・達成状況〉
容器包装や資材における使い捨てプラスチックの削減、学習会対応、広報強化に取り組み。

基準年(2017年)比93.6%に削減。

■ノントレイ商品の導入
ノントレイ商品の導入に向けて店舗での実験供給を開始。



マイバッグ運動NEXT

【チャレンジ4】

環境に配慮したエシカルな商品やサービスの開発・供給推進！

〈達成状況〉
エシカルな商品や「コープでんき」の普及・拡大、脱プラ施策の強化等を実施。



コープスのフレンドリーバナナ

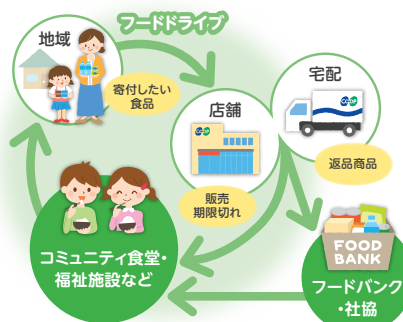


生産地のフィリピンミンダナオ島のビスカイヤ農園

【チャレンジ5】

組合員とともにエシカル消費を拡大！

〈達成状況〉
コロナ対応が継続する中、オンライン等を活用し組合員とともにエシカル消費・活動を展開。



フードドライブ



「てまえどり」呼びかけの様子

CO₂削減の取り組み



<https://eco.coop-kobe.net/ecolife/>

※URLをクリックすると関連情報が表示されます

業態	単位	合計	店舗	工場	宅配	物流	本部	福祉	子会社
2013年度実績	t-CO ₂	129,354	68,898	15,765	11,573	17,172	3,051	53	12,842
2021年度実績	t-CO ₂	72,079	23,110	13,983	9,749	13,533	1,936	174	9,595
2030年度計画	t-CO ₂	66,595	29,962	12,541	7,165	7,092	2,087	—	7,748
2030年度計画/2013年度実績	%	51	43	80	62	41	68	—	60
2021年度実績/2013年度実績	%	56	34	89	84	79	63	328	75



コープこうべグループが進める発電所一覧

2023年4月時点

	発電所	所在地	稼働開始	売電/ 自家消費	出力規模 (kW)	年間予想発電量 (kWh)	世帯数換算 (※) (世帯)
1	生活文化センター	兵庫県神戸市東灘区田中町	2007年 7月	自家消費	30.0	26,662	7
2	住吉事務所	兵庫県神戸市東灘区住吉本町	2007年11月	自家消費	3.4	6,650	2
3	コープ甲子園口	兵庫県西宮市二見町	2009年11月	自家消費	20.0	24,468	7
4	コープ住宅本社	兵庫県神戸市垂水区福田	2013年 3月	売電	19.6	22,320	6
5	鳴尾浜	兵庫県西宮市鳴尾浜	2013年 9月	売電	825.3	833,770	232
6	稲美	兵庫県加古郡稲美町	2013年 9月	売電	150.9	154,350	43
7	北神戸	兵庫県神戸市北区八多町	2013年11月	売電	258.0	259,833	72
8	姫路東	兵庫県姫路市別所町	2014年 1月	売電	309.6	311,141	86
9	氷上	兵庫県丹波市氷上町	2014年 3月	売電	305.3	292,280	81
10	高槻	大阪府高槻市玉川	2014年 6月	売電	257.0	254,131	71
11	三木三津田	兵庫県三木市志染町	2014年 9月	売電	2590.0	2,494,904	693
12	あこや学園	兵庫県尼崎市三反田町	2015年 6月	売電	26.4	28,355	8
13	西播磨	兵庫県たつの市揖西町	2015年 6月	売電	508.1	611,171	170
14	神吉	兵庫県加古川市東神吉町	2015年 6月	売電	50.8	57,802	16
15	WJS魚住	兵庫県明石市魚住町	2016年 2月	売電	360.6	370,990	103
16	須磨	兵庫県神戸市須磨区弥栄町	2016年 3月	売電	234.5	238,693	66
17	尼崎	兵庫県尼崎市猪名寺	2016年 3月	売電	217.0	220,880	61
18	丹波	兵庫県篠山市吹新	2016年 3月	売電	175.0	168,067	47
19	大王丹波	兵庫県丹波市山南町	2016年 7月	売電	501.6	535,679	148
20	箕面	大阪府茨木市藤の里	2016年 9月	売電	178.5	179,485	50
21	淡路	兵庫県南あわじ市榎列	2016年12月	売電	60.0	62,135	17
22	川西	兵庫県川西市東畦野	2017年 3月	売電	50.0	48,226	13
23	西神戸	兵庫県神戸市西区玉津町	2017年 6月	売電	608.6	586,983	163
24	伊丹	兵庫県川西市久代	2017年 9月	売電	212.2	206,001	57
25	協同購入センター伊丹	兵庫県川西市久代	2017年10月	自家消費	29.12	28,250	8
26	コープデイズ神戸西	兵庫県神戸市西区池上	2018年10月	自家消費	158.4	164,891	46
27	コープデイズ豊岡	兵庫県豊岡市加広町	2018年11月	自家消費	207.36	199,540	55
28	コープ西明石	兵庫県明石市北町	2019年 7月	自家消費	47.52	51,618	14
29	トヨタ神戸自動車大学校	兵庫県神戸市西区学園東町	2019年 8月	売電	77.3	87,951	24
30	協同購入センター淡路	兵庫県南あわじ市榎列	2019年12月	自家消費	22.32	24,636	7
31	みずほ協同農園 ソーラーシェアリング	兵庫県三木市細川町	2020年 1月	売電	82.9	91,480	25
32	コープライスセンター	兵庫県加古郡稲美町	2020年 4月	売電	226.8	267,157	74
33	協同購入センター西神戸	兵庫県神戸市西区玉津町	2020年 4月	自家消費	32.56	37,226	10
34	協同購入センター北神戸	兵庫県神戸市北区八多町	2020年 4月	自家消費	11.1	12,691	4
35	協同購入センター姫路東	兵庫県姫路市別所町	2020年 4月	自家消費	22.2	25,381	7
36	協同購入センター尼崎	兵庫県尼崎市猪名寺	2020年 4月	自家消費	24.8	28,354	8
37	糺屋	兵庫県多可郡多可町	2020年12月	売電	308.0	306,376	85
38	八千代	兵庫県多可郡八千代区	2021年 4月	売電	508.2	518,681	144
39	コープ西宮南	兵庫県西宮市	2021年 6月	自家消費	108.8	91,463	25

	発電所	所在地	稼働開始	売電/ 自家消費	出力規模 (kW)	年間予想発電量 (kWh)	世帯数換算 (※) (世帯)
40	コープ上郡	兵庫県赤穂上郡町	2021年10月	自家消費	222.7	214,288	60
41	コープ大久保	兵庫県明石市大久保町	2021年11月	自家消費	192.1	190,058	53
42	コープ安倉	兵庫県宝塚市安倉南	2021年12月	自家消費	64.6	60,328	17
43	協同購入センター東神戸	兵庫県神戸市東灘区住吉浜町	2022年11月	自家消費	194.4	213,399	59
44	東神戸	兵庫県神戸市東灘区住吉浜町	2023年3月	売電	532.8	585,223	163
	合計				11,026	11,193,967	3,107

(※)一般家庭の年間消費電力量を1世帯あたり3,600kWhとして算出

再生可能エネルギー100%事業所(8事業所)

2023年4月時点

	事業所名	所在地	運転開始
1	住吉事務所	兵庫県神戸市東灘区住吉本町	2020年 1月
2	生活文化センター東館	兵庫県神戸市東灘区田中町	2020年 1月
3	生活文化センター西館	兵庫県神戸市東灘区田中町	2020年 1月
4	協同学苑	兵庫県三木市志染町青山	2020年 1月
5	協同購入センター伊丹	兵庫県伊丹市中野北	2020年 1月
6	協同購入センター丹波	兵庫県篠山市吹新	2021年 4月
7	コープデイズ豊岡	兵庫県豊岡市加広町	2020年 1月
8	コープデイズ神戸西	兵庫県神戸市西区池上	2020年 1月



再生可能エネルギー100%施設とは

使用する電気を太陽光や
木質バイオマス発電による
電気(FIT電気)でまかなう施設です。



組合員からの回収量

(単位: kg)

回収品目	回収業態		2018	2019	2020	2021	2022
	店舗	宅配					
紙パック	○	○	308,615	312,584	339,780	331,890	321,580
飲料缶	○		247,695	245,792	260,348	244,983	239,712
発泡トレイ	○		157,306	160,046	165,876	155,401	163,551
ペットボトル	○		521,262	509,453	507,425	505,171	531,078
ペットボトルキャップ	○		31,674	33,128	35,770	36,739	41,641
透明トレイ・卵パック	○		128,316	143,501	175,029	188,984	194,952
卵パック		○	43,316	48,748	48,875	48,095	42,668
商品カタログ「めーむ」		○	7,942,317	7,976,606	8,207,127	7,961,583	7,826,593
商品配達用ポリ袋・帳票袋		○	120,441	142,963	144,439	145,949	138,690

使用済小型家電回収BOXの設置状況

コープこうべでは、行政の回収のしくみや要請に応じて、回収ボックスを設置しています。

2023年4月時点

	行政区	回収開始	店舗名
1	神戸市	2014年 4月	コープリビング甲南
2	明石市	2012年11月	コープ西明石
3		2017年10月	コープ大蔵谷
4		2019年 9月	コープ朝霧
5		2019年 9月	コープ大久保
6		2019年 9月	コープ魚住
7		西宮市	2015年11月
8	2015年11月		コープ北口食彩館
9	2015年11月		コープ西宮東
10	2017年 4月		コープ甲陽園
11	2017年 4月		コープ西宮南
12	2017年 4月		コープマリナパーク
13	高砂市	2016年10月	コープ高砂

※小型家電リサイクル法

使用済み小型家電に含まれる鉄やアルミ、レアメタルなどの貴重な資源の再資源化を目的とした「小型家電リサイクル法」に基づき、各自治体では使用済み小型家電の回収を進めています。回収した使用済み小型家電は、国の認定事業者によって回収され、資源として生まれ変わります。

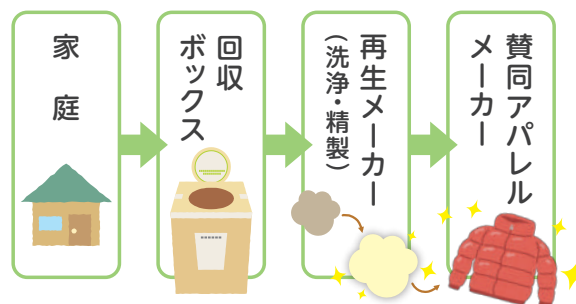
羽毛布団・ダウンジャケット回収店舗【28店舗】

2023年4月時点

	回収開始日	店舗名	住 所
1	2018年10月1日	コープデイズ神戸北町	神戸市北区日の峰2丁目7
2	2019年5月1日	シーア	神戸市東灘区住吉本町1丁目2番1号
3		コープデイズ神戸西	神戸市西区池上3丁目3番1号
4		コープデイズ相生	相生市旭3丁目7番6号
5		コープデイズ芦屋	芦屋市大原町9-1-304
6		コープ西宮	西宮市池田町11番1号
7		コープ姫路田寺	姫路市田寺3丁目3番11号
8		コープ横尾	神戸市須磨区横尾1丁目5番地(リファーレ横尾)
9		コープ大久保	明石市大久保町大窪字横山2545-8
10		コープ西宮北	西宮市山口町下山口5丁目13番22号
11		コープ北口食彩館	西宮市北口町1番2号136
12	2020年5月1日	コープデイズ豊岡	豊岡市加広町7-32
13		コープ深江	神戸市東灘区深江北町3-9-15
14		コープ宝塚	宝塚市中州1-1-1(アピアきた内)
15		コープ安倉	宝塚市安倉南4-38-1
16		コープ園田	尼崎市東園田町4-104-1
17		コープ三木緑が丘	三木市緑が丘町中1-7-1
18		コープ志染	三木市志染町西自由が丘1-166
19		コープ西明石	明石市西明石北町1-2-1
20		コープ高砂	高砂市松陽1-10-43
21		コープ龍野	たつの市龍野町島田10-1
22		コープ兵庫	神戸市兵庫区駅南通5-1-2-100
23		コープ西神	神戸市西区春日台3-3(かすがプラザ内)
24		コープ仁川	宝塚市仁川北2-7-1(さらら仁川南館)
25		コープ鈴蘭台東	神戸市北区鈴蘭台北町1-12-5
26		コープ魚住	明石市魚住町錦が丘4-3-1(魚住モール内)
27		コープ東豊中	豊中市東豊中町4-3-13
28		コープリビング甲南	神戸市東灘区甲南町2-1-20

グリーンダウンプロジェクト

羽毛は水鳥から採取される有限な資源です。需要の高まりに対し、羽毛資源は減少傾向です。限りある資源を有効活用する取り組みとして、羽毛布団・ダウンジャケットの回収・リサイクルを開始しています。回収した羽毛製品は、洗浄・精製加工され、再生羽毛(グリーンダウン)として、広く社会で有効利用されます。



2022年度

①リサイクル量	トン	3,753.3	
店 舗	野菜・肉の加工くず堆肥化(コープ土づくりセンター)	トン	587.0
	肉の加工くず飼料化(外部委託)	トン	2.4
	魚アラの飼料化(外部委託)	トン	458.8
食品工場	バイオマス発電への投入	トン	589.6
	パン耳等の飼料化	トン	183.0
	おからの乾燥・飼料化	トン	568.5
	おからの乾燥(水分量)	トン	1,309.9
	生ごみ(家畜飼料)	トン	6.3
廃油(余剰分回収)	トン	47.8	
②食品廃棄物の廃棄量	トン	1,425.4	
リサイクル率 ①÷(①+②)	%	72.5	
食品リサイクル法上の再生利用等実施率	%	80.6	

※食品リサイクル法上の再生利用等実施率には、発生抑制量などが勘案されています。

1. コープ土づくりセンターでのリサイクルについて

神戸・三木・明石・芦屋・西宮・宝塚・尼崎・伊丹・加古川・高砂市内の49店舗から野菜と肉の加工くずを回収しています。回収した加工くずは、三木市にあるコープ土づくりセンターで、堆肥製造の原料として活用されています。製造された堆肥は、土づくりセンターに隣接する(有)みずほ協同農園で使用され、収穫した農作物はコープこうべの店舗で供給されています。

2. 食品工場でのリサイクルについて

- ①豆腐製造の際に発生する生おからを乾燥し、飼料の原料として売却しています。
- ②おから以外の食品廃棄物を分解し、その過程で発生するメタンガスを取り出し、工場内の燃料として活用しています。

メタン化

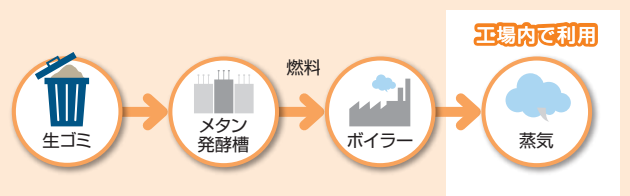
六甲アイランド食品工場のバイオマス発電

パンや豆腐などを製造する六甲アイランド食品工場では、メタン発酵を利用したバイオマス発電などにより、約98.6%の食品廃棄物をリサイクルしています。



バイオマス発電

■バイオマス発電のしくみ



コープ土づくりセンターの実績

年度		2018	2019	2020	2021	2022
食品残さ回収量(原料投入量)	トン	681	451	695	657	519
堆肥生産量	トン	100	84	94	99	75

食品ロス削減の取り組み

フードドライブ常時受付、集中受付キャンペーンの展開

		2021年	2022年
食品回収量	トン	約20	約54

※食品リサイクル法上の再生利用等実施率には、発生抑制量などが勘案されています。

店舗でのフードドライブ常時受付

家庭の余剰食品を持ち寄ってフードバンクに提供する「フードドライブ」を推進しています。2021年4月よりコープミニを除く全ての店舗で常時受付を開始。（※コープミニルミナス箕面は実施）





エコファーム利用者の推移

年度		2018	2019	2020	2021	2022
体験農園(貸し農園)区画数	区画	217	176	143	134	156
マイファーム(ミニ農園オーナー制)参加家族数(のべ)	家族	534	364	398	431	447
視察学習訪問者数(のべ)	人	848	1,022	3	44	200
エコファームくらぶ(ボランティア)参加者数	人	44	46	24	27	25

マイバッグ運動の取り組み



1. マイバッグ運動の成果

		2018	2019	2020	2021	2022
持参率	%	89.9	91.2	91.5	90.8	90.6
節約枚数	枚	75,132,824	75,639,899	73,778,494	72,352,447	73,040,866
原油節約量(200ℓのドラム缶に換算)	本	7,100	7,148	6,972	6,837	6,902

2. レジ袋代金の活用

2022年度に活用したレジ袋代金 2,962万4,012円
2022年度に活用したレジ袋代金の内訳は、以下のとおりです。

項目	金額(円)
<ul style="list-style-type: none"> ● 森林整備による生物多様性保全及び食・くらしと環境のつながりの体験学習推進 ● 地域での活動を支える基盤づくりのために、西宮市や近隣の学校等と連携強化 	260万1,674円
<ul style="list-style-type: none"> ● 「ひょうご地魚推進プロジェクト(とれびち)」「兵庫地場野菜振興プロジェクト(とれしゃき)」を通じ、食べものと食文化、生態系・環境とのつながりに気づき、広める取り組みを支援 ● 地区単位で体験的学習のフィールドを設定して行っている活動への支援 	82万6,890円
<ul style="list-style-type: none"> ● エコファームの活性化対策(学習教材の充実と展開、展示パネル修繕等) 	23万4,822円
<ul style="list-style-type: none"> ● 寄付機能付きペットボトル減容圧縮機の設置(コープ箕面) ● SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向け、再生可能エネルギーや食品ロス、プラスチック問題など最新の環境問題に関する、学習会の開催や学習ツールの作成、広報など 	176万円
<ul style="list-style-type: none"> ● コープ甲子園口の壁面緑化のメンテナンス 	37万700円
<ul style="list-style-type: none"> ● 容器包装のリサイクルに必要な費用の一部に充当 	2,382万9,926円

3. 行政や消費者団体とのレジ袋削減協定

	行政区名	締結年月日	三者協定締結日	他社	協 定 名
1	神戸市	2006年12月27日	2007年12月22日 (2011年12月22日更新)	●	レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
2	西脇市	2007年3月13日			マイバッグ運動の取り組みに関する協定
3	三木市	2007年3月29日	2009年1月16日 (2009年1月16日更新)	●	マイバッグ運動の取り組みに関する協定
4	明石市	2007年5月22日	2011年11月25日	●	マイバッグ運動の取り組みに関する協定
5	豊岡市	2007年5月25日			レジ袋削減の取り組みに関する協定
6	姫路市	2007年5月29日	2008年9月1日	●	姫路市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
7	相生市	2007年5月30日	2008年7月20日	●	マイバッグ運動の取り組みに関する協定
8	芦屋市	2007年5月31日			レジ袋削減に向けたマイバッグ運動の取り組みに関する協定
9	西宮市	2007年6月25日	2011年3月24日 (2015年4月1日更新)	●	西宮市レジ袋の削減等に関する協定
10	丹波市	2007年7月10日			レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
11	稲美町	2007年7月12日	2016年6月3日	●	稲美町におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
12	三田市	2007年8月24日	2008年12月15日	●	三田市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
13	加古川市	2008年1月26日	2008年1月26日 (2015年11月17日更新)	●	加古川市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
14	上郡町	2008年3月3日	同左	●	マイバッグ持参運動推進の取り組みに関する協定
15	たつの市	2008年8月8日	同左	●	レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
16	加西市	2009年8月24日	同左	●	加西市におけるレジ袋削減等に向けた取り組みに関する協定
17	宝塚市	2011年4月13日	2011年4月13日	●	レジ袋の削減等に関する協定
18	播磨町	2016年2月19日	同左	●	播磨町におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
19	豊中市	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
20	池田市	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
21	箕面市	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
22	吹田市	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
23	高槻市	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
24	茨木市	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
25	摂津市	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
26	能勢町	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
27	豊能町	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
28	島本町	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定

※豊中市(2008年4月13日)、吹田市(2009年10月2日)に締結されていた協定は、2019年3月26日の北摂地域のマイバッグ協定に包含される。

※尼崎市(2008年10月3日)との協定は、2020年の「レジ袋有料化義務化」の省令改正後、一定の役割を果たしたため終了(2023年3月末)。

2023年4月現在締結自治体数：22市6町



1. 助成団体および助成総額

	単位	2018	2019	2020	2021	2022
助成団体	団体	24	25	32	30	31
助成総額	千円	3,000	3,000	7,365	6,963	7,150
信託財産残高	千円	367,201	362,946	354,098	354,107	345,610

2. 2022年度の助成団体 ★印は2022年度初めて助成が決まった団体。

■実践活動・普及啓発部門・・・30団体

	助成団体名	活動内容や助成金の使途
1	丹波地域のホトケドジョウを守る会	丹波地域の数カ所ではしか生息が確認されていないホトケドジョウ保全を目的に、モニタリング調査、堆積土砂除去を行う。 ⇒検査試薬、生息地補修用品等に活用。
2	★ 志手原校区地域づくり協議会	休耕田の活用によるフジバカマの植栽によるアサギマダラの鑑賞用の休耕田の整備、啓発パンフレットの作成、飛来調査、鑑賞イベント等を実施する。 ⇒案内啓発用看板、啓発用パンフ作成に活用。
3	よこおみち森もりの会	神戸市須磨区横尾地区(野路菊育成、低木植栽、雑木林・竹ヤブ整備)。 友が丘地区(竹林道保全、「つつじの森づくり」に向けた植栽)。 ⇒整備用具、安全講習受講等に活用。
4	NPO法人 はりま田舎暮らしの会	年に一度の分蜂期に日本ミツバチを巣箱に誘引、保護・育成を行う。 ⇒巣箱材料費、待ち受け箱ルーアー、事務用品、巡回用軽トラ燃料代に活用。
5	★ 特定非営利活動法人 ワトワーズ多聞台	神戸市西部の多聞台団地でバタフライガーデンを造成している。 地域住民を巻き込んだ整備のほか、子どもを対象とした蝶の観察会も実施する。 ⇒柑橘類、サンショウ苗木等に活用。
6	多紀連山のクリンソウを守る会	多紀連山に自生するクリンソウ群生地保護のため、つたや障害樹木の伐採。 自生地及び周辺の生育状況の定点観察を行う。 ⇒遊歩道の整備資材、講師謝金、参考図書購入等に活用。
7	東多田里山の会	森林整備、散策道になる作業道の整備を行う。 ⇒事務用品消耗品、パンフレット印刷代、案内板の作成費等に活用。
8	^{ダイワ} 大和フォレストクラブ	「大和の森」を周辺住民の憩いの場や子供の自然教育の場の機能を充実させるための環境を整える活動を行う。 ⇒草刈り機や肥料、昆虫育成道具等に活用。
9	★ 竹林の整備で里山を守る会	里山などの放置竹林を整備し、生物多様性の復活を目指し、あるべき里山生態系を回復する事業。 ⇒竹切用軽量エンジン式チェーンソー等に活用。
10	特定非営利活動法人 PVネット兵庫グローバルサービス	里山林遊歩道の整備を行う。 ⇒森林整備準備作業用品費、倉庫、炭焼き器、チェーンソー講習会参加費、コピー用紙、インクカートリッジ、現地作業交通費に活用。
11	^{メッコフサン} 雌岡山梅林を育てる会	下草刈、整枝剪定、遊歩道整備など環境整備を行う。 ⇒機械・機具整備(業者に安全操作法講習等を依頼)ガソリン・オイル代等に活用。
12	川西生きもの研究会	猪名川本流及び中流域公園・黒川・一庫大路次川・武庫川上流の生物調査、親子水辺の生き物観察会を行う。 ⇒調査用網、観察会用網等に活用。
13	国見の森公園活動スタッフ	市の花ササユリの咲く森作り。 ⇒シカ柵ネット、支柱、ロープ、アンカー等に活用。
14	★ 自然体験活動支援「シニア種まき隊」	自然の生き物実体験、命に出会う「チョウや幼虫とのふれあい体験」。 ⇒クラフト材料費、ジャンボロール紙、ポスターカラー、外部講師謝金等に活用。
15	あびき湿原保存会	加西市の生物多様性の維持に資する生態系を保全。 植生、地下水の水質調査を行う地元の学校と連携し、不要動植物の除去、散策路の整備を行う。 ⇒整備用具、肥料等に活用。
16	ヤッホの森湿地を育む会	たつの市にある、放置されて陸地化がすすむ湿地の不要植物除去、周辺森林の除伐により、貴重な動植物を保全を行う。 ⇒整備用具・燃料、シカ柵資材等に活用。
17	★ 地域の自然を未来につなぐ会	地域の自然保護思想の普及に努める組織の運営。 ⇒植物・昆虫の図鑑類、講師謝金、双眼鏡などに活用。
18	ブルーアンドグリーンネットワーク	明石及び神戸西部海岸の海浜植物、海藻類、貝類等の生息調査を行う。 ⇒マップ作成・調査関係資材等に活用。
19	兵庫丹波オオムラサキの会	オオムラサキ舞う里山をめざし、生息調査継続によるマップ精度向上、学校の環境学習支援、増殖・放蝶活動を行う。 ⇒飼育ゲージ資材、幼虫調査に活用。
20	特定非営利活動法人 三木自然愛好研究会	ため池調査・草刈を行う。 ⇒クボタシング式法面刈り機、レッドデータブック、会場借用謝礼、軽トラ使用料に活用。
21	自然と文化の森協会	猪名川自然林の再生実験活動を行う。 ⇒クラフト用材料費、保全活動用剪定鋏、講師謝金、コピー用紙、消耗品に活用。
22	★ Sooo Good ながた	苅藻川・新湊川のお掃除活動。 ⇒ラバー手袋、ビブス、麻ゴミ袋、講師交通費等に活用。

	助成団体名	活動内容や助成金の使途
23	淡路東浦ため池・里海交流保全協議会	漁業資源を豊かにするため、ため池管理者と漁業者が連携し、かいぼりを行うとともに、小学生の環境学習フィールドを提供。 ⇒かいぼり用具、鯉の稚魚購入に活用。
24	アルファグリーンネット西淡	南あわじ市の「里山基地」の整備。 ⇒多目的万能物置等に活用。
25	NPO法人 Peace&Nature	植樹、雑木林の整備、伐採した草木の有効活用、SDGsワークショップ等の活用。 ⇒チェーンソー、草刈り機、替刃、収納庫代等に活用。
26	★ 淡路島ちどり隊	シロチドリ調査・保護と環境学習プログラム推進。 ⇒保護柵材料、杭とロープ注意看板、講師謝金等に活用。
27	NPO法人 たつの・赤トンボを増やそう会	トンボ池の木道に自家製堆肥の効果を見るための飼育カゴの設置し、その後たんぼへの移設等の活動を行う。 ⇒給水システム等に活用。
28	兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会	数少ない生息地である八子高原で、幼虫の食草であるオミナエシの植栽、幼虫の飼育・放蝶及び生息地の草刈り、シカ害対策を行う。 ⇒シカ柵・飼育ゲージ資材、種・苗代に使用。
29	<small>オガタニグサ</small> 長谷口ミツガシワ湿地保存会	新温泉町で2003年に発見された希少種ミツガシワ保全のため、ヨシの刈り取り、シカ害からの保護柵の設置を行う。 ⇒除草用具、電気柵資材に活用。
30	一般社団法人 八チ北自然協会	県指定天然記念物の「大笹のザゼンソウ」群生地の保全のための活動を行う。 ⇒杉の間伐や水源確保のための材料購入に活用。
31	★ お太子木こりん	太子町総合公園・松ヶ下山 整備保全。 ⇒ノコギリ、剪定鋏、鋏ケース・ベルト、ヘルメット等に活用。

■調査研究部門…今回応募なし

コープこうべ環境保全のあゆみ

	社会の動き	コープこうべの考え方や体制づくり	くらしの見直し活動や地域での活動	商品開発・普及、包材削減の取り組み	リサイクルの取り組み	事業活動から発生する環境負荷削減の取り組み	
70年代	1971	環境庁設置					
	1972	国連人間環境会議					
	1975					空ビン回収システムを整備	
	1977				根菜類13品目のトレイ包装を廃止		
	1978			買い物袋再利用運動を開始	<ul style="list-style-type: none"> 食品容器包装フィルムを塩ビからポリエチレンに変更 全店舗の野菜・果物売り場でノートレイを実施(一部品目を除く) 		
1979	滋賀県「琵琶湖の富栄養化防止条例」公布						
80年代	1981				<ul style="list-style-type: none"> 有リン洗剤の取り扱いを中止 せっけんキャンペーンを開始 卵パックを塩ビからポリエチレンに 		
	1982			排水チェック活動を開始			
	1984					全店でボタン電池の回収を開始	
	1986			第1回琵琶湖親子見学会を実施			
	1988				タルク入りトレイ(CTFトレイ)の導入		
1989	フロン全廃宣言採択(ヘルシンキ会議)	<ul style="list-style-type: none"> 総代会で「くらしの見直し」と地球環境を守る取り組みを強める」特別決議を採択 環境問題対策会議を設置 				食品工場にコジェネシステムと排水処理・有効利用設備を導入	
90年代	1990			コープの環境月間スタート	<ul style="list-style-type: none"> 環境統一マーク商品の供給を開始 水畜産トレイ包装商品の袋包装への切り替え開始 フロンガス使用のスプレー式商品の取り扱いを中止 	牛乳パックリサイクルが本格的にスタート	<ul style="list-style-type: none"> チラシ、包装紙、コピー紙、レシートなどの再生紙化を実施 業務用コンピューター用紙などの回収を開始
	1991		環境問題推進室設置	買い物袋再利用運動から買い物袋持参運動に	<ul style="list-style-type: none"> フードブラン第1号商品開発 環境統一マーク商品にサブマークを導入 	<ul style="list-style-type: none"> 飲料用アルミ缶、スチール缶、トレイ、ペットボトルのリサイクル開始 クリーニングコーナーのハンガー回収を開始 	
	1992	環境と開発に関する国連会議(地球サミット)開催		<ul style="list-style-type: none"> 環境測定活動スタート 公益信託「コープ環境基金」を設立 			
	1993	環境基本法成立					生産事業部がタービンで自家発電開始
	1995	容器包装リサイクル法成立	<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメント・環境監査システム本格スタート 組合員の環境委員会発足 	買い物袋持参運動拡大(必要な方は1袋5円で購入いただく方式に)		リサイクル推進功労者表彰で「通産大臣賞」を受賞	店舗の生ゴミを回収し堆肥を作る実験スタート
	1996	ISO14001が発効	総代会特別決議として「環境憲章」を採択		<ul style="list-style-type: none"> 冷蔵庫からのフロン回収を開始 通いコンテナ導入実験を開始 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル制服を採用 タルク入りトレイの再生原料を利用した買い物かご導入(~2002) 	
	1997	地球温暖化防止京都会議(COP3)開催	環境報告書が環境アクションプラン大賞(環境庁長官賞)受賞		小型焼却炉取り扱い自粛	コープミニ全店で5品目回収開始	芦屋市、尼崎市、伊丹市の店舗の魚箱リサイクル開始
	1998	家電リサイクル法成立	コープ武庫之荘ISO14001取得	コープグリーンロード運動をスタート	コープラップ(塩化ビニリデン製)取り扱い中止		<ul style="list-style-type: none"> コープ士づくりセンター完成(全店舗にてゴミの計測開始) (有)みずほ協同農園発足 ディーゼル車のガソリン車への切り替え完了 地球温暖化防止活動大臣表彰(低公害車部門)
	1999		<ul style="list-style-type: none"> 総合品質管理室設置 食品工場ISO14001取得 		塩素系の食品ラップの取り扱い中止		エコファーム施設の完成

	社会の動き	コープこうべの考え方と体制づくり	くらしの見直し活動や地域での活動	商品開発・普及、包材削減の取り組み	リサイクルの取り組み	事業活動から発生する環境負荷削減の取り組み	
2000年代	2000	・循環型社会形成推進基本法が成立 ・食品リサイクル法が成立	全事業活動でISO14001取得	・虹っ子「エコチャレンジプログラム」をスタート ・マイかご、無料レンタル袋制度の導入	着物リサイクルショップ「結」スタート	協同購入の商品情報紙「めーむ」の回収をスタート	
	2001	環境庁が環境省となる	第一次環境中期計画策定			協同購入で卵パック回収をスタート	・エコファームを本格オープン ・協同購入センター加古川にLPGスタンド設置
	2002		・食品工場ISO14001更新 ・環境推進室設置	・エコファームでマイファーム、エコファームクラブ開始 ・炭素税に対する見解まとめる ・環境学習ボランティア活動開始	食の環境配慮基準策定		・本部エコワーキングスタイル運動開始 ・「第8回全国環境保全型農業推進コンクール」の大賞受賞（みずほ協同農園）
	2003		全事業でのISO14001の更新	・虹っ子エコ&フードチャレンジプログラムスタート ・コープEARTくらぶが2カ所で立ち上がる		協同購入で卵パック回収を休止	食品工場の廃棄物処理設備完成
	2004		第二次環境中期計画策定	・環境省の「地球環境美化功績賞表彰」受賞 ・電気削減運動を開始		協同購入で卵パック回収を再開	・コープこうべの自主行動計画策定 ・農林水産省の「2004年度バイオマス利活用優良表彰」でバイオマス活用協議会会長賞受賞
	2005	京都議定書発効	ISO14001の環境マネジメントシステムを食品工場と統合	エコチェックキャンペーン全地域で展開	・(有)みずほ協同農園の大根が「三木市議会議長賞」受賞 ・フードプラン管理規定の策定	協同購入・個人宅配の配送時に使用する内袋回収スタート	・食品工場のバイオマス利活用の取り組みが「ひょうごバイオマセコモデル」第1号に認定 ・ライトダウンキャンペーン6店舗で試行
	2006		全事業活動でのISO14001更新	レジ袋のレジ精算スタートに向け、8店舗で先行実施		協同購入・個人宅配の帳票袋回収スタート	・ライトダウンキャンペーン全店規模で実施 ・コープ土づくりセンターと子会社の(株)協同食品センターが「平成18年度ひょうごバイオマセコモデル」に認定
	2007		・総代会で「マイバッグ運動の推進とくらし見直しに関する」特別決議採択 ・第三次環境中期計画策定	・レジ袋のレジ精算、食品を扱う150店舗で実施 ・容器包装3R推進環境大臣大賞最優秀賞受賞	コープスお買い物バッグの開発		
	2008	・京都議定書第一約束期間スタート ・G8環境大臣会合が神戸で開催		・組合員から募集したエコメッセージをG8環境大臣会合に合わせて発信 ・兵庫県、西宮市と企業の森づくり協定締結			バイオディーゼル燃料の取り組みを開始
	2009			コープの森・社家郷山の活動方針が「保全活動推進委員会」で決定			省エネ活動の徹底によるCO ₂ 削減の取り組みを、一部の店舗で実験的に開始
10年代	2010	生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が愛知で開催			・フードプラン20周年 ・地産地消推進のためコープスに兵庫県産品をアピールするロゴ“ひょうご発”を導入 ・飼料米を使った「穂の実りたまご」開発	店舗で卵パック・透明トレイの回収スタート	・コープ神吉を省エネのモデル店舗としてリニューアルオープン ・コープミニ御影北の店内照明すべてを実験的にLED化 ・省エネ活動の徹底によるCO ₂ 削減の取り組みを全店展開
	2011	東日本大震災発生	創立90周年を迎え、大阪北生活協同組合と合併 新生コープこうべスタート。大阪北地区が加わり、7地区体制になる	電力不足問題に対して夏と冬に省エネの学習会を開催			夏場の節電対策を強め、年間を通じて全事業所で省エネルギー、CO ₂ 削減の実施
	2012	再生可能エネルギーの固定価格買取制度開始	「共に生きる、未来につなげる」を基本方針として、将来のあるべきコープこうべの姿を模索する「次代コープこうべづくり」プロジェクトをスタート				住吉事務所が関西広域連合エコオフィス大賞「節電の励行部門賞」を受賞

	社会の動き	コープこうべの考え方や体制づくり	くらしの見直し活動や地域での活動	商品開発・普及、包材削減の取り組み	リサイクルの取り組み	事業活動から発生する環境負荷削減の取り組み	
10年代	2013	コープこうべのエネルギー政策を策定	シンポジウム「『コープの森・社家郷山』の魅力は高まったか?」開催		アルミ付紙パックの回収スタート	<ul style="list-style-type: none"> コープ武庫之荘が省エネ型店舗としてリニューアルオープン 鳴尾浜配送センターで太陽光発電事業を開始 	
	2014				<ul style="list-style-type: none"> 子会社の株式会社あいのサポートで店頭回収のペットボトルのプレス作業開始 玉津リサイクルセンター稼働（宅配の商品情報紙「めーむ」の圧縮作業を開始） 	雑がみの分別回収を全店展開	
	2015	<ul style="list-style-type: none"> SDGs採択 パリ協定採択 		<ul style="list-style-type: none"> 第3回食と農林漁業の食育優良活動表彰「農林水産大臣賞（企業部門）」を受賞 「おおさか環境賞」の準大賞を受賞 コープの森・社家郷山が環境省「生物多様性保全上重要な里地里山」（500箇所）に選定 みんなの牧♥里プロジェクトの取り組み開始 		<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルのキャップの回収開始 宅配返品商品のフードバンク関西への提供開始 	再生可能エネルギーを利用する電力供給事業を開始（コープこうべの42事業所に電力供給）
	2016	<ul style="list-style-type: none"> 電力小売全面自由化 熊本地震発生 				玉津リサイクルセンターで、宅配の商品配達用ポリ袋の圧縮作業を開始	再生可能エネルギーを利用する電力供給事業を拡大（コープこうべの88事業所に電力供給）
	2017			店舗でのフードドライブを初めて実施	エシカル消費の推進をスタート	鳴尾浜リサイクルセンター稼働	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー電力を含む「コープでんき」を組合員に供給する電力小売事業を開始 協同購入センター伊丹がスマートKCとして稼働
	2018	<ul style="list-style-type: none"> 大阪北部地震発生 西日本豪雨発生 国連気候変動枠組条約第24回締約国会議（COP24）がポーランドのカトヴィツェで開催 	環境チャレンジ目標「エコチャレ2030」策定	<ul style="list-style-type: none"> 大阪北地区でレジ袋の無料配布を中止 不要になった羽毛（ダウン）回収開始 期限の近い商品を購入する「てまえどり」を神戸市内店舗で実験展開 			<ul style="list-style-type: none"> 店舗の管理日数切れ商品をフードバンクへの提供開始 脱プラプロジェクトチームの発足 太陽光発電の「自家発電・自家消費」の事業所を拡大
20年代	2019	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック資源循環戦略を策定 G20サミットが大阪で開催 東日本で台風大雨発生 新型コロナウイルスによる感染症が発生 	プラスチック使用に関する基本方針を策定	<ul style="list-style-type: none"> 「わたしのSDGsアクションコンテスト」として地域の未来づくりに取り組む活動を募集 フードドライブの常時受付開始 コープこうべ環境基金の助成金額・対象を拡充 「てまえどり」を全店展開 コープ西宮東など3店舗でレジ袋の無料配布を全面中止 	ラベルレスボトル飲料1本につき2円を兵庫県「生物多様性ひょうご基金」に寄付	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用太陽光発電の余剰電力買取サービスを開始 再生可能エネルギー100%施設を開始 エコファームでソーラーシェアリングを開始 	
	2020	レジ袋有料化義務化省令が施行	マイバッグ運動の新たな展開「マイバッグ運動NEXT」スタート	<ul style="list-style-type: none"> 新たに4店舗で、フードドライブの常時受付開始 レジ袋の無料配布全面中止 第8回食品産業「もったいない大賞」の農林水産大臣賞受賞 第2回「わたしのSDGsアクションコンテスト」をオンラインで開催 	再生プラスチック50%を配合したレジ袋を採用	<ul style="list-style-type: none"> 宅配でのフードドライブを開始 羽毛布団・ダウンジャケットの回収店舗を29店舗に拡大 寄付機能付き「ペットボトル圧縮機」をコープ北口食彩館に設置 	再エネ100%事業所を拡大（全59事業所）
	2021			<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮型モデル店舗のコープ西宮南でオンライン見学会を開催 鳴尾浜、玉津リサイクルセンターの夏休みの親子オンライン見学会を開催 コープ龍野で地域と共催し「プラエコデー」を開催 わたしのSDGsアクションフォーラムを開催 	海洋プラスチックの「買い物かご」を採用	<ul style="list-style-type: none"> 洗剤やシャンプーの使用済み詰めかえパックの回収を神戸市内の33店舗で開始 東播磨地域におけるペットボトルの「ボトルtoボトル」水平リサイクルに参加協力 新たに3店舗に寄付機能付き「ペットボトル圧縮機」を設置 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電の「自家発電・自家消費」の事業所を拡大 「水車新田小水力発電所」からの電源調達を開始

	社会の動き	コープごうべの考え方と体制づくり	くらしの見直し活動や地域での活動	商品開発・普及、包材削減の取り組み	リサイクルの取り組み	事業活動から発生する環境負荷削減の取り組み
20年代 2022	「プラスチック資源循環促進法」施行		<ul style="list-style-type: none"> •「てまえどり」が2022年度「新語・流行語大賞」トップ10に選出 •アプリ・ルームに「みんなでSDGsアクション!!」を立ち上げ投稿を募集 	畜産ノントレイ商品の拡充	寄付機能付き「ペットボトル減容回収機」で集めた寄付金を地域の環境団体に寄贈	国の補助金を活用した「節電チャレンジプログラム」を実施し、組合員とともに節電に取り組む